

事務連絡

平成27年10月13日

関係者 各位

関東東海北陸農業試験研究推進会議
関東東海・土壌肥料部会長 加藤直人

平成27年度 関東東海北陸農業試験研究推進会議 関東東海土壌肥料研究会の開催について

標記研究会について、下記のとおり実施致しますので、ご出席お願い申し上げます。

記

1. 開催日時：

平成27年11月18日（水）8：45～11：00

2. 開催場所：

国立研究開発法人 農研機構 中央農業総合研究センター大会議室

3. 議事：

関東東海土壌肥料研究会「関東東海都県の若手・中堅研究者が推進する今日的課題」

コーディネーター：農研機構・中央農研 井原啓貴、淵山律子

1) ブルーベリー種間雑種育成系統の解析 (8:45-9:01)

東京都農林総合研究センター 金牧 彩

2) 家畜ふん堆肥の長期連年施用によるモモ園の土壌養分および果実生産への影響 (9:01-9:17)

山梨県果樹試験場 加藤 治

3) 牛ふん堆肥施用によるリン酸減肥技術の開発 (9:17-9:33)

栃木県農業試験場 野崎 律子

4) 緑肥作物を活用した後作野菜のリン酸減肥技術開発 (9:33-10:49)

千葉県農林総合研究センター 塚本 崇志

5) 米麦二毛作地帯における小麦枯れ熟れ様障害の発生要因について (10:49-10:05)

埼玉県農業技術研究センター 鎌田 淳

6) 湿害回避を中心とした葉野菜類の生産安定技術の開発 (10:05-10:21)

長野県野菜花き試験場 齋藤 龍司

7) 青ネギの葉色と日持ち性が低下する要因 (10:21-10:37)

三重県農業研究所 服部 侑

8) 施肥条件が農産物収穫後の品質保持に及ぼす影響 (10:37-10:53)

神奈川県農業技術センター 曾我 綾香

4. 配付資料の様式と締め切り日：

1題あたり質疑を含め16分（発表10～15分）でお願いいたします。配布資料は**11月9日（月）17：00までに**、担当 iharaca@affrc.go.jpへご提出ください。特定の様式は定めません。A4縦置きで目安1～3枚、余白は各々25mm以上としてください。

講演スライドは**11月16日（月）9：00までに**、事務局にご提出ください。動作確認のうえ、不具合があれば連絡します。なお、当日差し替えがある場合は、研究会開始前に会場にお越しください。

5. 参加申し込み：

別途連絡いたしました、推進会議開催の事務連絡文書に添付の申込書に含まれますので、そちらをご利用ください。

6. 参集範囲：

農林水産省 農林水産技術会議事務局、消費・安全局、生産局、関東農政局、東海農政局、関東東海地域都県農業関係試験研究機関、普及機関及び行政部局関係者、農業環境技術研究所、（独）農林水産消費安全技術センター、野菜茶業研究所、畜産草地研究所、果樹研究所、作物研究所、中央農業総合研究センター、その他部会長が必要と認めた者

7. 連絡先：

中央農業総合研究センター 土壤肥料研究領域 井原啓貴

TEL 029-838-8829 E-mail iharaca@affrc.go.jp

8. 開催場所 地図：

